

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社でんきのサントップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念は毎朝礼時に社員全員で唱和している									8	9									17								
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・取締役を中心に毎週勉強会を実施している ・月に1度外部災害防止協議会への参加を行っている																		16									
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経営計画書の中で全社員に周知している																		10	16								
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・SDGs達成に向け専務取締役を中心に取組体制が整っている																			16								
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・年に一度知的財産権及び商標登録に関する社内勉強会を実施している									8.2 8.3	9									16								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客台帳システムをクラウド化し、台帳へのアクセスを制限している ・紛失の無いよう紙での出力を減らすなどし、厳重に取り扱っている																			16								
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・家電販売店グループ本部会議を月2回実施し、仕入れ元、お客様との関係改善に向けた取組と検討、評価を行っている																		16	17								
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17								
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9			11			13.1		16	17							
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17							
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●											1	2										5	8		12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別・年齢・障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内ですべての人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント防止研修を外部講師を招き、年に1回実施している					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7								
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎日のKY活動及び月1回の安全講習会を実施している						3			8.8																		
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態にかかわらず、仕事内容に応じた平等な評価制度を運用している							5.5		8.5		10.2 10.3																
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・長期間労働を抑制する為に、毎月の残業時間が把握できるよう社内へ掲示し意識づけを行っている ・DX化を進め業務効率化を図っている						3	5.5		8.5 8.8		10.3																
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・給与制度に資格手当を取り入れて 資格取得を推奨している						4	5.5		8	9																	
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・年に1度の健康診断時のオプション検査料を会社負担とすることで健康維持への意識を向上してもらう取り組みをしている						3			8										17								
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・退職後の再雇用制度を創り現在運用中である ・子育て世代の女性でも働きやすいように勤退時間を柔軟に対応している					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7								
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。	●		・月1度の全体の定例会議はWEB会議システムを利用し、感染対策及び有効な時間の確保を行っている						3			8	9.1		11	12														
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・業務日報のクラウド化により、事務処理時間の工数削減に取り組んでいる ・見積書作成ツールのクラウド化により、業務時間の有効活用に使えよう取り組みをしている									8	9.1		11	12														
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●											3	4				8	9					12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・リサイクル指定業者への持ち込みを行い、法令に沿った取組をしている ・廃棄物の分別を細かく行い、リサイクル等の推進へ取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気使用料をモニターでの見える化及び自動記録を行っている ・【予定】再生可能エネルギーでの電力カバー率を2023年度30%のところ、自社社屋へ太陽光発電システムの追加導入により2025年3月までに実質90%に高める							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2025年3月までに自社全体の温室効果ガス排出量を「熊本県エネルギー使用量・Co2排出量簡易計算シート」を利用し把握する ・社用車にEV・PHEを導入し、温室効果ガスの排出量を削減する ・本年度は電気自動車の導入1台を行い34.2kgの削減を行う		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・省エネ設備の利用を積極的に行うなどして、環境保全への取り組みを推進し、生物多様性の保全に取り組んでいる						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内会議では、紙ごみ抑制の為、資料はデータでの共有を行っている										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水トイレ及び節水水栓を設置し、水資源の保全に取り組んでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・省エネ家電及び省エネ建材の販売を通じて、環境に配慮した取り組みを支援している										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光発電システム、蓄電池の設置、オール電化の推進によりエネルギー使用の効率化を推進している								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・社用車にEV・PHEを導入し、温室効果ガスの排出低減に取り組んでいる									9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・太陽光発電システム、蓄電池の設置により、Co2排出量を削減する ・営業車の買替は将来的に電気自動車へ変えていく 【予定】2025年3月までに電気自動車を1台導入する						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社でんきのサントップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品の保証期間を長期保証する仕組みを創り、安心して長期間利用できる体制を整えている			3.9						9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店舗づくりは、段差のないバリアフリーとし、店舗空間を広くとることで車いす利用者や多くの方に利用しやすい店舗づくりを行っている									9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・室内二酸化炭素レベルをコントロールする空気循環システムを導入促進することで、二酸化炭素による健康被害低減に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・所轄警察署と連携し小学校の登下校の見守り活用及び緊急保護の受け入れを行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・緊急時の安否確認をスムーズに行う為、SNSによる連絡網、連絡システム、等多数の連絡手段を作っている				4							11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1					16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。